

# 「受援力」の第一歩 防災ボランティア活動とは？

被災地の生活の復旧・復興や被災された人たちへの寄り添いやお手伝いなどを目的とした、自発的な活動として、自然災害等に見舞われた地域に全国からお手伝いをしたいという思いを持った人たち（ボランティア）が集まります。

近年では、数多くのボランティアの人たちが、自発的に様々な主体と協働し活発な活動が行われ、予防から復旧・復興に至る災害対策のあらゆる局面において、大きな役割を果たしてきています。

## 【被災地で行われた防災ボランティア活動の例】

- 避難所でのお手伝い（炊き出し、洗濯など）
- 話し相手、足湯（13 ページ参照）
- 子どもの遊び相手、託児代行
- ペットの世話
- 暮らしに必要な情報の提供支援（FM 放送、ニュースレター、ミニコミ誌など）
- 家の片付け
- 水害の場合の泥だし
- 暮らしのお手伝い（お買い物、家事手伝い、家庭教師など）
- 配食サービス
- 生活物資等の訪問配布
- 被災された人たちに元気になっていただくための交流機会づくり、イベント開催
- 暮らしの再建のための専門家の相談会、勉強会
- 復興期における地域おこしのお手伝い

など



家屋周辺の泥だしをしている様子（福井県）  
写真提供：蓮本浩介



崩れた土蔵の片付けをしている様子（石川県輪島市）  
写真提供：黒澤司



家屋内外の片付けをしている様子（宮城県）



現地に到着したボランティアバスの様子  
写真提供：特定非営利活動法人みえ防災市民会議

### ボランティアバス

まとまった人数で効果的にボランティア活動を行うためにバスをチャーターして被災地内外を行き来する「ボランティアバス」という取組が行われています。

被災地の要望にあわせて、被災地外の団体が必要な人数や活動などを整理して、ボランティアを集めます。

バスの手配や活動に必要な道具などもボランティアたちが準備します。

被災地の災害ボランティアセンターや行政においては、ボランティアバスが来たときに混乱しないように、バスの駐車場、集合場所、解散時間・場所、作業分担などきめ細かい準備が大事です。